

18期議員を顧みて

南風原町議会議長
宮城 清政



宮城清政 議長

平成26年9月28日、改選後の9月定例会において、議長に就任し会議の諸原則を重視し、議会の権限が十分に発揮できるように議会運営に心がけてまいりました。

議会改革の取り組みでは、南風原町議会基本条例を策定し、昨年6月には施行後の3年間を振り返りアンケートを実施しております。

これについては、次期へ引き継ぎ新たな議員で検討することになりました。議会報告会は、今年で第7回目をかぞえました。参加者が少ないという課題はあるものの、素晴らしい意見・提

案もあり、また町民からは引き続き開催してほしい旨の要望が多くありました。

4年間を顧みますと、米軍基地の問題など、町民の生命・財産を守り、福祉の向上を図る観点から、米軍等に関わる多くの意見書、決議を行ない積極的に対応してまいりました。

また、南風原議会だよりが沖縄県町村議会広報コンクールにおいて、最優秀賞・写真賞を受賞したこと、議会広報常任委員会のたゆまぬ努力と熱意の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、本町は今年4月1日には、町制施行38周年を迎えました。これまで様々な事業を展開し、改めて、南風原町の発展を確認したところであります。しかしながら、環境整備、教育文化、保健福祉、子育て支援、企業誘致、雇用の拡大、行財政改革など、多くの課題が山積しております。

平成24年度から沖縄振興特別推進交付金事業がスタートし、今年で7年目を迎えました。残りの3年でこの一括交付金事業をいかに有効に活用するかが、町の発展に大きく貢献することに繋がることと思います。議員の政策提言等や議員相互間による自由討議も含め、調査研究活動が必要です。

結びになりますが、町民

の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。18期議会の挨拶といたします。



18期議員の集合写真(第2回6月定例会終了後に撮影)